

- 兵庫運河を核にした地域づくり (P.1)
- 開港5都市景観まちづくり会議2010神戸大会 ほか (P.2)
- 「山麓リボンの道」を行く⑬ (P.3, 4)
- お知らせ (P.4)

発行：神戸こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

## 兵庫運河を核にした地域づくり～兵庫区南部地域の賑わいと活力の創出

兵庫運河は、5つの運河（兵庫運河、兵庫運河支線、新川運河、苅藻島運河、新湊川運河）からなる日本最大級の運河（総延長6,470m、水面積 約34 ha）です。海難事故が多かった和田岬沖を迂回するバイパスとして、1874(明治7)年に着工し、1899(明治32)年に完成しました。

兵庫運河は、近年まで貯木場、はしけ運搬の水路等として利用されていましたが、木材の輸入方法変更などにより使われなくなりました。しかし、100年を超える歴史を持つ兵庫運河は、貴重な地域資源であり、最近では、レガッタなどの水上スポーツ、兵庫運河祭等のイベントにより親水空間として活用が図られています。

### 1. 兵庫区南部地域の活性化に向けた取り組み

現在、兵庫区では、兵庫区民まちづくり会議が、区民アンケートやシンポジウム、ワークショップを通じて、平成23年度からの「兵庫区計画（やさしさと思いやりのまち 兵庫）」の策定に取り組んでいます。そのなかには、「個性を活かした地域づくり」の推進策として、「地域ゆかりの歴史の保存・活用」、「兵庫運河の新たな活用」、「中央卸売市場周辺のまちづくり」などがあげられています。

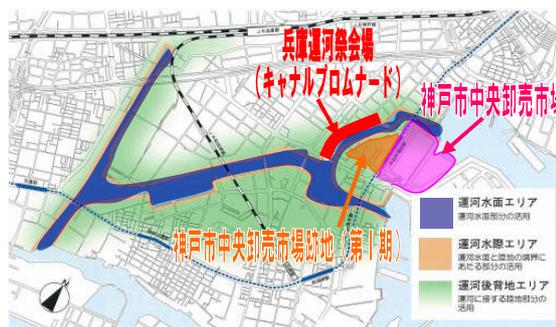
神戸市中央卸売市場本場は、施設の老朽化を解消し、業務の効率化を図るため、平成21年5月に西側施設を現在の東側に移転し、機能集約しました。その跡地（第Ⅰ期）は、兵庫運河に隣接する特性をいかし、兵庫区南部の賑わいと活性化をリードする集客・商業施設としての利用が検討されています。

兵庫運河を核として運河周辺の歴史資源、産業資源、集客施設が連携することで、兵庫区南部の活性化が進められています。

### 2. 兵庫運河を核にした地域づくり

平成21年7月に、神戸市は、地域住民・地域企業・学識経験者・行政からなる「兵庫運河活性化会議」を立ち上げ、「水と緑にあふれ、人が集い、歴史の息づくまちづくり」のコンセプトのもと、運河全体を回遊できるプロムナード整備、「兵庫運河らしい景観づくり」（景観形成のルールづくり）などの魅力づくりに取り組んでいます。

他にも、テーマに応じて、様々な地域団体などが、兵庫運河を身近な水辺空間として親しんでもらい、その魅力を再発見してもらうための兵庫運河祭や運河クルーズなどのイベント、真珠貝プロジェクトによる環境学習と水環境の向上、クリーン作戦などの様々な取り組みを行なっています。



### 3. 兵庫運河祭（平成22. 9. 11開催）

平成13年から始まった「兵庫運河祭」は、兵庫運河祭実行委員会・神戸市の共催イベントで、今年で10回目を迎えます。

会場は、改修工事でリニューアルした新川運河キナルプロムナードで、厳しい残暑にも関わらず、親子連れなど多くの来場者で賑わいました。兵庫運河活性化会議のブースでは、兵庫運河にちなんだクイズが行なわれ、来場者が兵庫運河に関する知識を深めていました。また、兵庫運河周辺の昭和の懐かしい写真パネル展示、炎を使った大道芸、「清盛なべ」、演奏・ダンス・よさこいのステージなどがあり、来場者は、テーマである「昭和」が息づく下町情緒を存分に楽しんでいました。



兵庫区外のより多くの市民に兵庫運河の魅力を知ってもらうとともに、神戸市の貴重な観光資源としてのさらなる活用と情報発信を期待します。



# 開港5都市景観まちづくり会議 2010神戸大会 開催&参加者募集

開港5都市景観まちづくり会議は、日本最初の開港地になった5都市（函館、新潟、横浜、神戸、長崎）の市民団体が集い、まちづくり活動に関して意見交換や交流を行うことを目的に、平成5年より毎年各都市で順番に開催しています。今年は神戸での4巡目の開催となり、「共生のまちづくり ～ 時間・空間・文化を超えて～」をテーマに、景観形成等に取り組んでいる神戸市の12の市民団体が中心となって“おもてなしの心”溢れる企画で神戸のまちの魅力を伝えます。震災15年を経過した神戸での景観の取り組みや「デザイン都市・神戸」の取り組みを他都市の皆さんや神戸に住まう皆さんに広くPRするとともに、「デザイン都市・神戸」の新たな一面を発見し、まちの将来を一緒に考えます。ぜひ、ご参加ください。

日程	会議名	内容
10月29日(金) 14:00~16:30	全体会議Ⅰ (要申込み) 入場無料	会場：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス（神戸市中央区港島1-1-3） 【第1部】 5都市からあいさつ / 神戸市からのメッセージ など 【第2部】 基調講演 田辺 真人氏（園田学園女子大学名誉教授） 「個性を活かし魅力を高める街づくり」～歴史や文化を生かした地域振興～
10月30日(土) 9:00~17:30	分科会 バス&まち歩き ツアー (要申込み)  各分科会参加費 2,500円 (昼食代込み)	分科会1 『未来に継承する“開港の文化”』 【中央区】北野異人館→神戸外国倶楽部→三宮神社→神戸市立博物館→旧居留地 ほか 近代神戸発祥の地を巡り、開港の文化に思いを馳せ、みなとまちの未来を考えます。 分科会2 『まち・まちの多様な文化 ～神戸市北区の農村文化と湯の文化～』 【北区】箱木千年家→有馬→下谷上農村歌舞伎舞台→【新長田】鉄人28号 ほか みなと以外の一味違った神戸の横顔に触れ、地域ごとの多様な文化について考えます。 分科会3 『みなと街「神戸」の原点へのアプローチ、雑居地の共生の文化に触れる。』 【垂水区】孫文記念館→【中央区】関帝廟→南京町→みなと元町地区散策 ほか みなと街「神戸」を体感し、様々な文化が共生したまちの歩みについて考えます。
主催：開港5都市景観まちづくり会議神戸大会実行委員会		

## ○参加申込方法

10月12日(火)必着で、①住所 ②氏名 ③電話番号・FAX番号 ④参加希望される会議名（全体会議Ⅰ、分科会1・2・3）をご記入の上、往復はがき、FAX、Eメールにて下記までお申し込みください。

## ○申込・問い合わせ先

開港5都市景観まちづくり会議神戸大会 実行委員会事務局

〒650-8570（住所不要）神戸市都市計画総局計画部まちのデザイン室

TEL：078-322-5629 FAX：078-322-6096 E-mail：keikan@office.city.kobe.lg.jp

ホームページ <http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/enterprise/kaikou/index.html>

（都市計画総局まちのデザイン室）

## 神戸市すまいの安心支援センター“すまいるネット”開設10周年記念イベント 豊かな住まい、住まいの楽しさ再発見！

すまいに関する相談窓口として開設した神戸市すまいの安心支援センター“すまいるネット”は今年で10周年を迎えます。それを記念し、もっとすまいるネットを知ってもらい、身近でお役に立つ存在となるように、セミナー（「きもちのいい家」など）や子供と一緒に段ボールなどを使った家づくり・牛乳パック等を使った地震に強い家の実験のワークショップなど、子供から大人まで楽しめるイベントを開催します。

会場：HDC神戸（JR神戸駅下車すぐ）

日時：平成22年10月30日(土)10:00~17:00

【参加無料】※セミナーのみ要申込

お問い合わせ・セミナー申込：すまいるネット

TEL078-222-0186

（受付時間 9:15~18:00 水曜定休）

# 「山麓リボンの道」を行くーその13(最終回):鳥原へのみち

建築家 森崎輝行 (いきいき下町推進協議会)

いよいよ、この「山麓リボンの道」の連載も今回の「鳥原へのみち」で最後になります。

今回は、水の科学博物館(旧市立奥平野浄水場)が出発地点です。六甲山の麓、緑に囲まれて建つドイツルネサンス様式の東西50mに及び白亜の建築は、1917(大正6)年、海岸ビルディングや神戸地方裁判所の設計でも有名な河合浩蔵(1856(安政3)～1934(昭和9))によるものです。煉瓦造平屋建てで、当初は、「奥平野浄水場急速濾過場上屋」として使用されており、その風格ある外観からも戦前の都市政策における水道事業の重要性を推し量ることが出来ます。1990(平成2)年には、この館の保存活用を目的として、神戸市水道給水開始90周年を記念した「水」をテーマとする科学館「神戸市水の科学博物館」として公開されました。



さて、鳥原へ向かって、「山麓リボンのみち」を歩きます。やや下り、ゆるやかな起伏の大きな幅員の道を西に歩くと、やがて、「平野」に着きます。この地一帯は、旧奥平野村の山間部一帯で古い村の名である「平野」を残すために大正3年につけられたといいますが、「平野」は大倉山や会下山などの前山があり、海から眺めると隠れ里のような景観を示しています。このような地形から「平野」と名づけられていたのかも知れません。

楠谷川を渡り、つづら折りの坂道を登り、市内にある一宮神社から八宮神社まであるその一社の五の宮神社にでます。これらの八つの神社は、三宮にある「生田神社」と関係の深い裔宮(えいぐう:つながりのある神社)であると伝えられています。特徴的なのは、それぞれの神社を中心に一宮、二宮、三宮、四宮、五宮、六宮、七宮の集落が形成されていることです。〇〇宮町といった町名でも認識されるところです。高台の静寂のなか一息ついたところで、再出発です。ここから、山麓リボンのみちは二手に分かれます。大倉山へ向かうみちと本日の祇園神社へ向かうコースです。

祇園神社に着きます。この神社は、素盞鳴命(サノヲミコ)を祀っています。清和



天皇の御世に京都で疫病が流行り、占いの結果、姫路の広峰神社に祀られている素盞鳴尊がこれを治める御力があるという事が判り、869(貞観11)年、姫路の広峰神社から素盞鳴尊(牛頭天王(ゴウテンノウ))を京都八坂神社に移す(分霊)時、神輿がこの地で一泊したことを記念し、社を建てて奉ったことから始まっています。神社は、祇園山の中腹にあり約90段の石段を登ってお参りします。上りきると、正面に鈴を吊るした社殿と対峙し、都会の喧騒からはなれた異空間ともいえます。

ところで、牛頭天王は、インドではお釈迦様が悟りを開かれた『祇園精舎』の守護神であり、中国では、牛頭状の形をした山で熱病に効く梅檀(せんだん)と呼ばれる木を産出していた山を疫病にご利益のある神として牛頭天王と呼んであがめていました。後に、このインドと中国の神様は一つになって、日本に伝わり、疫病やその他邪気をはらうという同じ御神徳のある素盞鳴尊と同じ神様として信じられるようになったそうです。それで三柱の神様が一つになり、素盞鳴尊を別名牛頭天王と呼び、また祇園さんと呼ばれるようになったということです。

話が少しそれますが、祇園神社のホームページに興味ある記述を見つけましたのでご紹介しておきます。『鈴は、その清らかな音色から人の心を和ませ、悪霊を祓(はら)う道具として、古来より神社では、ご神前に吊るしたり、神楽の中で巫女が振るなどのように使用されて来ました。』とあります。だから、神社には「鈴」が吊るされているんですね。

祇園神社を後にし、天王谷川沿いに下ると、神戸市民に親しまれてきた「平野の温泉」に出ました。この温泉は、有馬温泉と同じ泉質「炭酸重曹泉」です。この温泉の歴史は、福原に遷都をした頃(1180)にさかのぼるそうです。平清盛の頃ですので約800年の歴史です。2軒あった「天王温泉」と「湊山温泉」ですが、残念ながら「天王温泉」は、2004(平成16)年8月1日に閉鎖されてしまいました。

「山麓リボンの道」は密集した住宅地の路地を縫う様に続きます。石井川に沿って回り込み、急な坂道を登ると最終地である鳥原の貯水池が忽然と表れます。鳥原貯水池(立ヶ畑ダム)は、1901(明治



34)年6月に着工され、1905(明治38)年5月に完成しました。ダムの高さは33m、長さは122m、貯水量は1,315,139㎡あります。設計者は、佐野藤次郎(1891(明治24)年大阪市技師となり、神戸市水道工事長などをへて、1911(明治44)年神戸市技師長)。かつて、ここにあった烏原村(98戸、414人)は、1904(明治37)年、湖底に没しました。貯水池の護岸に160個の石臼が置かれていますが、これはかつて、烏原村で生産されていた線香の材料作りに使われ

ていたものということです。

現在、ダムの周囲には水と森の回遊路があり、格好の散策路となっています。

13回にわたってご紹介した「山麓リボンのみち」いかがでしたか?ご紹介できなかった魅力いっぱいの「山麓」。神戸市から発行している「山麓リボンの道」パンフレットを携え是非、一度、散策してみたいかがですか? 終。

13回にわたって連載してきた「山麓リボンの道」も今回が最終回です。  
 「山麓リボンの道」のパンフレット(200円)は、こうべまちづくり会館にて、好評発売中です。この機会に、ぜひ散策しながら、建物、まちなみ、歴史などの神戸の魅力を再発見してみてください。  
 ●「山麓リボンの道」パンフレットは、下記のところでもお求めいただけます。  
 ・神戸市総合インフォメーションセンター(三宮交通センタービル1階)  
 ・神戸市市政情報室(市役所1号館3階)

## まちづくり会館 展示のお知らせ

### 1階オープンギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
9/30(木) ~ 10/12(火)	防犯啓発パネル展	神戸市危機管理室
10/14(木) ~ 10/26(火)	東南海・南海地震に備えて<パネル展>	神戸市危機管理室
10/28(木) ~ 11/7(日)	悪質商法・生活情報センター<パネル展>	神戸市市民参画推進局
11/8(月) ~ 11/16(火)	くらしの中の計量<パネル展>	神戸市市民参画推進局
11/18(木) ~ 11/30(火)	美緑花こうべ環境ポスター展	神戸市環境局

※展示期間が変更になる場合があります。

### 地階ギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
9/30(木) ~ 10/5(火)	きんもくせいのお会 絵画展<水彩・パステル>	きんもくせいのお会
10/7(木) ~ 10/12(火)	チェリーの会展<油彩・水彩等>	チェリーの会
10/15(金) ~ 10/19(火)	第3回みなと銀行福友会 会員展<油彩・水彩等>	みなと銀行福友会
10/22(金) ~ 10/26(火)	第28回 帆船模型作品展	神戸帆船模型の会
10/28(木) ~ 11/2(火)	第2回 墨咲会 水墨画・墨彩画展	墨咲会
11/4(木) ~ 11/9(火)	神戸写遊会 写真展	神戸写遊会
11/11(木) ~ 11/23(火)	企画展~鈴木城・神戸市電絵画立体作品展<水彩・立体等> ※17日(水)は休館です 『昔の街は消えても思い出は残る 永遠なのは思い出だけ~昭和の神戸と市内電車』	こうべまちづくり会館
11/25(木) ~ 11/30(火)	川崎重工グループ 絵画展<油彩・水彩等>	川崎重工グループ

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



### こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分~午後6時(水曜日休館)  
 場 所：元町商店街4丁目西端の南側角  
 地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分  
 神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分  
 「西元町」東口から東へ5分  
 JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分  
 〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14  
 電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546  
 ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

### コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談  
 受付：午前9時30分~午後5時30分(水曜日休館)  
 ただし、印刷は5時まで  
 電話・FAX：078-361-4565